



広報しまだ

Shimada

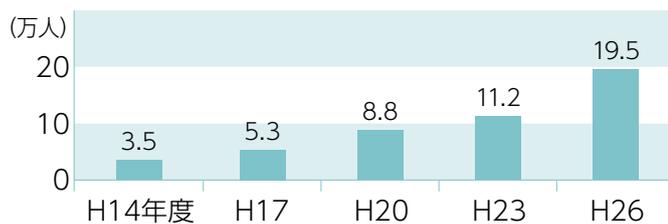


毎月15日発行

目次 CONTENTS

- 2 特集:発達凸凹
～大人の発達障害を考える～
- 14 まちの話だい
- 16 民生委員・児童委員
- 17 新型コロナウイルスお知らせ・お願い
- 18 しずおか市町対抗駅伝
- 19 市政あらかると
- 20 しまだ情報:地域防災訓練/島田市
人権啓発ポスター展/しまだ市民
遺産募集/性の多様性セミナー/
はじめのスマホ教室/みんなで走ろ
う!元日マラソン など
- 25 掲示板
- 26 しまいく
- 27 図書館だより
- 28 けんこうナビ(12月)
- 31 彩りもう一品/耳よりお達者情報
- 32 便利帳(12月)
- 34 緑茶化のススメ/「広報ひみ」から/
高校生、島田の仕事を探る
- 35 市政羅針盤
- 36 島田人:青島えりかさん

— (グラフ1) 診断やカウンセリング等を受けるために —
医療機関を受診した発達障害者数



平成29年 厚生労働省「発達障害者支援関係報告会資料」

(表1) 発達障害と診断された人

10歳未満	10万3,000人	50代	1万5,000人
10代	12万2,000人	60代	7,000人
20代	10万7,000人	70歳以上	5,000人
30代	6万0,000人	年齢不詳	1万3,000人
40代	4万9,000人	合計	48万1,000人

平成28年 厚生労働省「生活のしづらさなどに関する調査」

表紙 COVER STORY

カメラの前は、表現力を競い合うステージ。市内のモデル事務所に所属する3人は、障害の有無に関わらず、自分であることを好きになる機会を得て、輝きます。



発達凸凹

～大人の発達障害を考える～

露呈 | ろてい - Rotei | コロナ禍での気付き

新型コロナウイルス感染症の拡大は、企業の規模縮小や働き方の激変を招いた。コロナ禍による雇用情勢

の変化で、若者や中高年の人が困窮する中、生活支援や就労相談の窓口を訪れたことをきっかけに、初めて自身に発達障害がある可能性に気付くケースが相次いでいる。長年抱いてきた「生きづらさ」の原因を憂える

大人、そして知る大人が増えているのだ(グラフ)。

2004年に制定された「発達障害者支援法」(16年

改正)や2007年に本格化した特別支援教育により、先天的な一部脳機能障害としての発達障害への支援が加速した。裏を返せば、それ以前に学校を卒業していた中高年の人の発達障害が、特にコロナ禍をきっかけに表面化した可能性がある。診断された人数を年代ごとに見ても、相対的に30代以上が少ないのは、こ

れまで公的に見逃されてきた実情を示唆している(表1)。

なぜ大人になるまで、発達障害が露呈しなかったのか。それは、人間関係や生活環境によりカバーされていたからだろう。しかし、家庭や学校では「個性」として容認されてきた「特性」(行動や認知の特徴)も、就職・異動・結婚・出産といった環境の変化を機に、

「個性」から困りごとへ:

複雑になる人間関係。

混沌とする社会情勢。

生きづらさの理由を、

憂える大人が増えている。

困りごととし

て顕在化する。周囲の人

や環境との関

わりが複雑に

なる中で症状

が徐々に明確

になる点も、

大人の発達障

害が「気付きにくい・気付かれ

にくい」一つの要因といえる。

得手不得手の差は、誰にでも

ある。しかし、自分の努力

では改善が難しく、周囲の配

慮が必要な特性ゆえに、その

「凸凹」は「障害」として位置付

けられている。地域全体で、

存在を共有し向き合うべき

「社会性の障害」として、大人の

発達障害を考える。

発達凸凹 + 適応障害 = 発達障害

認知能力の高低差

環境や生活上の不適應

自尊心低下で二次障害も

発達障害 ≠ 発達凸凹 能力の偏りがある ≠ 能力が無い

発達凸凹の特性が現れる原因

明確な原因はまだ解明されていないが、発達凸凹の特性は「先天的な脳機能の障害」と考えられている。つまり、生まれ持ったものではない後天的な障害や課題は、発達凸凹（または発達障害）ではない。

例えば、認知症は後天的な障害で、進行する症状から周囲の目や自覚で、受診する機会を得られる場合がある。一方で発達凸凹は、幼少期からのアンバランスな発達により、脳内の情報処理や制御に偏りが生じるもの。自分の努力では、カバーできない。

発達凸凹と発達障害

発達凸凹は、認知能力（知覚・理解・記憶・推論・問題解決など）の高低差が大きいことを指す。発達凸凹に適應障害が加わることで、発達障害となる。

幼少期に発達凸凹を見過ごされた大人は、学校や職場など周囲の環境、一人暮らしや子育てなどの生活に適應できない場合（＝ミスマッチ）、日常に困難をきたす障害となってしまう。また、否定や失敗の経験が積み重なり自尊心を著しく欠いてしまうことで、うつ病や依存症などの二次障害も抱えてしまう。

特性 | とくせい - Tokusei | 関係性のミスマッチ

【ASD】
自閉症スペクトラム症の特性
 「自閉症」「高機能自閉症」「アスペルガー症候群」の総称（表2）。大人の場合は、コミュニケーション・対人関係の困難とともに、強いこだわり・限られた興味を持つ特性がある。そのため、周囲から「空気が読めない」と思われがちで、孤立してしまうことがある。

【ASD】
ASDの特性の例
 ◎相手の立場に立つて考えることが困難
 ◎言葉や表情のニュアンスから状況を察することが苦手
 ◎言葉を文字通りに解釈する想像力が乏しい

【ADHD】
注意欠如・多動症の特性
 「多動性・衝動性」と「不注意」による特性がある。注意力が続かなかったり、落ち着きがなくなったりする症状が仕事や生活に影響し、大人になってから気付く人も増えている。

◎曖昧な表現を受けての判断や対応が難しい

【ADHD】
ADHDの特性の例
 ◎目的のない動きをする

【日】
 本での発達障害（凸凹）は、その特性により主に「ASD」「ADHD」「SLD」の3つに分類される。人によっては、複数の特性が重複する場合もあれば、同じ診断名でも特性の表れ方が異なる場合もある。

※この他、発達障害者支援法では、トゥレット症候群や吃音症なども定義されている。

（表2）自閉症スペクトラム症

特性	自閉症	高機能自閉症	アスペルガー症候群
意思の疎通	とても困難	困難	少し困難
言葉の遅れ	ある	ある	ない
知的障害	ある	ない	ない
こだわり	ある	ある	ある

それぞれの障害(症)の特性

- ◎ 言葉の発達の遅れ
- ◎ コミュニケーションの障害
- ◎ 対人関係・社会性の障害
- ◎ パターン化した行動・こだわり

自閉症スペクトラム症

ASD

「自閉症」「高機能自閉症」
「アスペルガー症候群」

知的な遅れを伴う場合あり

注意欠如・多動症 ADHD

- ◎ 不注意(集中が難しい)
- ◎ 多動・多弁
(じっとしてられない)
- ◎ 衝動的に行動する
(考えるよりも先に動く)

限局性学習症 SLD

- ◎ 「読む」「書く」「計算する」などの能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

- ◎ 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- ◎ コミュニケーションの障害
- ◎ 対人関係・社会性の障害
- ◎ パターン化した行動・興味・関心の偏り
- ◎ 言語発達と比較して不器用

参考：厚生労働省「発達障害の理解のために」



Ryoma Ohashi
おおはしりょうま
大橋 亮真 保健師
☎ 福祉課
☎ 36-7154

相談して困りごとを整理し
自分らしい生活を

「片づけられない」「ひきこもりになった」など、生活で上手い出来ないという相談を受けることがあります。もちろん原因はさまざまで、発達障害が全てではありません。それでも、相談することで困りごとの整理ができ、過ごしやすくなることもありますので、ぜひご相談ください。

福祉課では、必要に応じた専門相談窓口の紹介や、福祉サービス利用の検討のほか、発達障害の啓発研修などを通して、自分らしく生活する方法を一緒に考えていきます。

SLD

限局性学習症の特性

- ◎ 「読む」「書く」「計算する」ことが極端に上手くできない特性がある。知的発達の遅れがないゆえに、忘れ者と誤解されたり、本人が努力不足と思いつい込んでいたりすることが少なくない。
- ◎ 感情が不安定になりやすい
- ◎ 一方的にしゃべり過ぎる
- ◎ 不用意な発言(口を滑らす)
- ◎ 些細なミスが多い
- ◎ 忘れ物が多く片付けが苦手

読む困難の例

(ディスプレイシア)

- ◎ 形が似た文字を間違える
- ◎ 文字や行を読み飛ばす
- ◎ どこで区切るか分からない
- 書く困難の例

(ディスプレイシア)

- ◎ 漢字の一部を常に間違える
- ◎ 文字の向きを左右逆に書く
- ◎ 言葉の順番が入れ違う
- 計算する困難の例
- (ディスプレイシア)
- ◎ 九九を覚えられない
- ◎ 記号や図形が理解できない
- ◎ 数の大小が分からない

YAZAKI 配慮

はいりよ - Hairyo
不安要素の除去



Tomonori Suzuki
鈴木友則さん(矢崎計器株式会社)
(島田製作所 総務部長)



職場全体に広げたい
——
できることに着目する視点を

当社の障害者雇用状況は、現在20人、3.7%の雇用率です。支援学校やハローワークとの連携はもちろん、作業実習の実施など双方納得した上での採用にこだわること、低い離職率を保っています。配属にあたっては、個々の能力(できること)の見極めを丁寧に行い、組立作業だけでなく、運搬・仕分け・清掃などの、働きがいを感じ活躍できる職場を検討します。作業環境は、障害の特性に配慮しています。例えば、視

線が苦手ならば、適度に他者から離れた作業場所を確保したり、トイレでの気分転換が必要ならば、ドアにその旨を表示したり、不安要素をどう取り除けるのかを考えます。場合によっては、作業自体の改善も行います。工程のスキップ予防には、指示と成果を書き込めるホワイトボードを設置。細かい部品の仕分けミス予防には、一式の写真とトレイに貼り、袋詰めして計量する流れにしました。見やすい表示や解りやすい要領は、健常者にとっても、ミスを減らす手段になります。障害者雇用があったから行えた、職場改善ですよ。

今ある業務を分解すれば、仕事はまだ創出できるはず。そして、障害があっても段階を踏めば、担える仕事もあると思います。できることに着目できる視点を、職場全体に広げ「社会から必要とされる企業」とはどうあるべきかを、今後も突き詰めていきます。

線が苦手ならば、適度に他者から離れた作業場所を確保したり、トイレでの気分転換が必要ならば、ドアにその旨を表示したり、不安要素をどう取り除けるのかを考えます。場合によっては、作業自体の改善も行います。工程のスキップ予防には、指示と成果を書き込めるホワイトボードを設置。細かい部品の仕分けミス予防には、一式の写真とトレイに貼り、袋詰めして計量する流れにしました。見やすい表示や解りやすい要領は、健常者にとっても、ミスを減らす手段になります。障害者雇用があったから行えた、職場改善ですよ。



矢崎グループ障害者採用ウェブサイト

障害者雇用に関わる「多様性の尊重」「拠点での取り組み」「募集概要」について掲載しています。

障害者採用の詳細は、QRコードから。採用状況などは、拠点ごとに異なります。





Kenji
Nagasaka
ながさか けんじ
長坂 賢司さん
(第二組立製造部)

障害者雇用は、現場とすれば同僚を迎えることなので、初めは不安もありました。でも、繊細なだけに、作業工程で小さな部分のミスにも気付いてくれますし、コミュニケーションも、特性が分かると図りやすくなりました。

写真や番号を使うなど、指示に少しの工夫があれば、確実にこなしてくれるので、徐々に作業範囲も広がります。焦らず、互いに信頼感を育むことが大切ですね。

周囲の理解と現場の工夫で活躍の場を広げる



特性を伸ばせる社員を増やすことが成長の鍵



仲間との共感が今までとは違う価値観を生む

DDACは「発達障害をもつ大人の先進的なコミュニティ」の意味。大人の当事者が、二次障害を克服し、より良い社会生活を送るとともに、その特性を生かして社会に貢献できるよう、支援事業や啓発活動を行っています。

私自身、ADHDと診断された発達障害(凸凹)の当事者です。ASDとSLDの特性も当てはまります。子どもの頃は、自分なりのルールがあるので、聞き入れられないと興奮してトラブルに。また、何か刺激があると、後回しにできずに飛び付き、その前のことを忘れてしまいます。忘れ物が絶えず常に注意され、自尊心を持てずにいました。大学時代に一人暮らしを始めると、キャパオーバーで二次障害として「うつ病」が悪化。今でも特性は変わりませんが、以前よりも自分自身を責めなくなりました。失敗しても「まあええか」って感じですかね。そう思えるのも、



Yui Hirono

ひろの 広野 ゆいさん(兵庫県芦屋市)

仲間

なかま - Nakama
コミュニティ

DDAC

当事者会に参加して仲間ができ、ずっと一人で抱えてきた問題に共感してもらえたからです。

自分を肯定してくれる人と一緒にいることで、自尊心を回復することができました。仲間からの支援で「このままでええわ」と思えるのと、エネルギーを自分が今できることに注ぎ、そこを伸ばせると実感します。一人で頑張らないことが、大切なんです。今では、発達凸凹があったから、できた経験や会えた人がいると思えます。発達凸凹は、自分の努力で治るものではない。でも「何もできない」ということでないんです。私は、凸凹があっても排除されず、みんな

と一緒に生きたいと、大人の会を立ち上げました。特性も含めて互いを知れば、共に暮らせるはずですよ。それには、例えば定時出社など、既存の社会的ルールや前例は本当に踏襲すべきか、見直すことも必要だと思います。

違いがある人と居る利点は「補い合える」こと。同じ感覚同士は付き合いやすいけれど、足りない部分を埋めることって、難しくありませんか。障害の有無に関わらず、みんなに着眼する「ストレングス視点」を持つことで、誰もが生きやすくなるはず。



啓発冊子などはPDFでも公開中

NPO 法人 発達障害をもつ大人の会「DDAC」(大阪府大阪市)

自助グループ活動を中心に、当事者主体の事業を展開しています。

DDACの事業内容は、QRコードからホームページで。 ※講師の派遣も可能です。





静岡県中西部発達障害者支援センター「COCO」(大川町) ☎ 39-3600

島田市を含む志太榛原と中東遠エリア、湖西市を管轄しています。

COCOの事業内容は、QRコードからホームページで。
※来所相談は、予約制です。



「べき」という内なる固定観念のボーダーを超える

障害の有無に関わらず、生きづらさを抱えている人が、少しでも生きやすい世の中になるよう、本人・家族・支援機関・地域と一緒に、地域づくりに取り組むこと。それが、当センターのコンセプトです。

新型コロナウイルス感染症によって、誰もが社会環境との関わり方の捉え直しを迫られました。「学校休校からの切り替え」「SNS上のコミュニティのみの関わり」「在宅ワークによる家族時間の増加」などの変化は、生活環境に直接影響しています。

そのコロナ禍で、仕事や学習のリモート化は、職場の暗黙の慣習が一旦リセットされたり、教室で理解しにくかった授業内容を個別に学習できる機会が生まれたりと、プラスに作用した人もいます。しかし一方で、急速にリモートが導入されたため、ルールや規則の整備が後手になり、基準のない環境に混乱する人も見られます。

支援

しえん - Shien
地域サポーター

自分一人で、選んで・決めて・動かないといけないことは、ありません。周囲や家族を頼ればいいと思います。上手に自立している人は「助けて」「手伝って」「教えて」が得意です。頼って相談できる誰かがいることは、とても大切なことなんです。

誰しも、事が順調に進んだり進まなかったりする日々があり、環境と調整しながら適応しています。生活や仕事の条件や課題に対する適切な対処が上手くないかない状態が続くと、障害(社会的ハンデ)になります。だからこそ、周囲の環境を整えれば、社会参加や適応を阻害する障害は、取り除けるのです。

「自分は発達障害では」との相談に対し当センターは、どうすれば自身が感じた違和感や不具合を解消できるのかを、一緒に考えます。私たちの「べき」という内なる固定観念のボーダーを超え、自身で解を見つけ、前進できるようにサポートします。

発達障害の中のワタシではなく、ワタシの発達の特徴(凸凹)として捉えること、それを社会全体が認め合い支え合うこと。むしろ、発達凸凹に気付かなくても、みんなが生きやすく支え合える地域にしていけることが、より重要ではないでしょうか。

Ikuya Sakurai

さくらい いくや
櫻井 郁也さん(一般社団法人たけのこ)



多様性のある働き方が
次の成長のあり方では



人に寄り添い誰も排除しない
食材で一流を目指す

「久遠チョコレート」の原点は、2003年に3人の障害者とともに始めたパン工房「ラ・バルカ」です。当時から、従業員に障害があっても、店を構えた愛知県(豊橋市)の最低賃金を保証することは、当然だと考えてきました。

オープンした頃、障害者の平均月収は1万円以下。障害や性別といった属性で、暮らし方や生き方の選択肢が無くなることは「ナンセンス」な社会だと思いませんか。金額の問題ではなく、障害によって1万円以上に挑戦できない環境は、おかしい。仕方ないと言っていたら、成長も変化もありません。彼らの居場所ではなく、選択肢を作ることをミッションとしました。

一方、ベーカリーで実感したのは、食材に人が合わせなければならぬという課題でした。時間厳守の作業は、障害者を置いてけぼりにしてしまふ。誰も排除しない、人に合わせてくれる食材を求め

て、日々悶々としていましたね。15年後に出会ったのが、チョコレートでした。

この食材は化学的で、正しい材料を正しく使えば、誰でも美味しいものを作れます。しかも、手作業であるほど価値が増し、失敗しても溶かして作り直せる。多様な人を包摂し、人に寄り添える食材を得て、久遠チョコレートの開店に至りました。

現在、全国52拠点で働く従業員は約550人で、そのうち約350人が障害者。育児中の母親やLGBTQの当事者、引きこもりの若者もいます。例えば勤務時間など、社会が少しだけ融通をきかせれば、能力を発揮できる人が多くいるんですよ。

消費者に商品を「買いたい・贈りたい」と思ってもらえる



Hirotsumi Natsume

夏目 浩次さん(愛知県豊橋市)
(久遠チョコレート プロジェクト代表)

選択

せんたく - Sentaku
シンプルな社会

ことは、作り手の誇りです。そして、就労継続支援B型の人も、生活介護対象の人も、その一旦を担ってくれる欠かせない存在。だから、みんなが一流を目指す。もはや、福祉とか商売は関係ない、至ってシンプルな選択です。

凸凹を排除して平準化に苦勞するより、個々の可能性のパズルを組み合わせる方が単純なはず。シンプルな社会を作るためにこそ、みんなが「もがく」価値がある。私たちの取り組みが特別視されず、取材もされず、障害者雇用という言葉すら無くなる社会を、本気で目指しています。

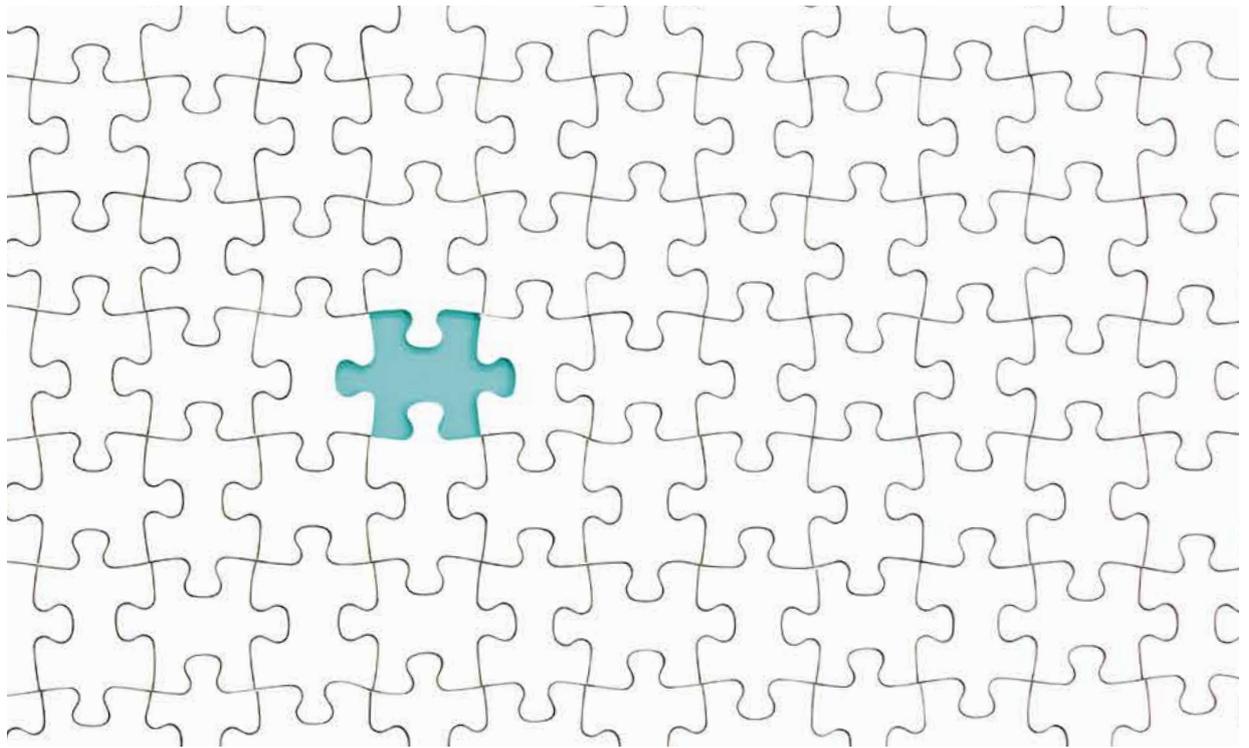


一般社団法人ラ・バルカグループ

直営事業所の運営のほか、企業への経営参画にも取り組み、障害者の雇用・就労促進を図っています。

QUONの事業内容は、QRコードからホームページで。
※こだわりの商品を紹介。





補完 | ほかん - Hokan | このまちのピース

発 達障害(凸凹)という言葉
葉は広がりつつあるが、

根本的に癒やすことは、まだ
まだ難しい状況にある。その
支援体制も、整備の道半ばと
いえるだろう。しかし、適応
障害を軽減し、発達凸凹の範
囲に「収める」方策を見つけた
ことはできる。そのためには、
当事者が自身の特性を整理・
分析すること、地域や職場が
「合理的配慮」

の下で理解・
工夫すること
が必要だ。

合理的配慮
とは、特別扱
いでは無い。

障害や性別、
国籍や貧富、

そして社会的地位や役割な
どの属性に関わらず、全ての
人になされるべき、社会環境
の調整、つまり「すり合わせ」
だ。過剰に配慮するのではな
く、互いがすり合わせて「ミス
マッチ」を減らすことができ
れば、特性と環境のバランス
を保ちやすくなるだろう。適
応できるなら、障害に至らず
凸凹にとどめられる。

凸凹の有無に関わらず、誰
もが苦手を補完し、折り合い
を付けて生きている。自分と
相手の性格や能力を理解し、
すり合わせることは、自然に
「当たり前」に行っているはず
だ。その当たり前を、凸凹の
ある人たちへ広げることが、
難しいことなのだろうか。

目に見えにくいのがゆえに
「問題行動」として捉えられ
やすい発達凸
凹。世間には、
特性による失
敗や困難の原
因を「親の育
児」「本人の努
力」だと決め
付ける誤解が
まだ残る。し

自分の不得手を補う誰か。

自分の得手を生かし

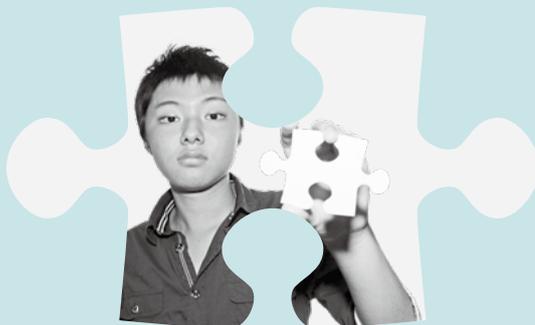
補える誰か。

両方いる社会の方が、

お互い楽に生きていける。

かし、原因が親や本人にない
以上、凸と凹の特性を切り離
し、凸を伸ばす選択肢を増や
さなければ、環境や生活、そし
て凹を補完してほしい誰かと
のマッチングは進まない。

何より「本人も困っている」
という視点がなければ、共生
社会は成し得ない。凸凹は人
にあるが、障害は人ではなく
社会にあるのだから。



7ページで、長坂さんに見守られながら作業に集中しているのは、広汎性発達障害（現 ASD）の特性を持つ、大塚嶺さん。^{おおつかりょう}9年前の取材当時、動物たちをかわいく描くことが得意だった。今、好きなのは働くこと。例え、得意が変わっても、見つからなくても、「好き」を見付けられれば、人生はより豊かになると、教えてくれる。

凸凹は誰にでもあり、苦手はその人の **全て** ではない。

凸凹は、特性と **多様性** を理解することで受容される。

凸凹は人にあるが、障害は人ではなく **社会** にある。



特集「このまちのピース」(vol.173)

このまちは、多様な個性が組み合わさったパズル。その人しか埋められない地域の「ピース」があります。

広報しまだ 2012年(平成24年)11月号は、QRコードからホームページで。

